

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成21年12月17日 (2009.12.17)

【公開番号】特開2008-247166(P2008-247166A)

【公開日】平成20年10月16日 (2008.10.16)

【年通号数】公開・登録公報2008-041

【出願番号】特願2007-90241(P2007-90241)

【国際特許分類】

B 6 2 J 11/00 (2006.01)

B 6 0 R 16/06 (2006.01)

B 6 2 J 17/06 (2006.01)

B 6 2 J 99/00 (2009.01)

B 6 0 R 16/04 (2006.01)

B 6 0 K 8/00 (2006.01)

【F I】

B 6 2 J 11/00 G

B 6 0 R 16/06 A

B 6 2 J 17/06

B 6 2 J 39/00 H

B 6 2 J 39/00 L

B 6 0 R 16/04 A

B 6 0 K 8/00

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月29日 (2009.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車体の前方にレッグシールドを備え、このレッグシールドにバッテリーを配置した自動二輪車のバッテリー配置構造において、

前記バッテリーを複数のバッテリーで構成し、各バッテリーを相互に離間して上下に配置したことを特徴とする自動二輪車のバッテリー配置構造。

【請求項 2】

前記複数のバッテリーのうちの最上部に位置する上側バッテリーを前傾に配置し、最下部に位置する下側バッテリーを後傾に配置して、前記複数のバッテリー全体を、車体側面視で上下のバッテリーの略中央を車体後方に凸とする仮想屈曲線に沿わせて配置したことを特徴とする請求項 1 に記載の自動二輪車のバッテリー配置構造。

【請求項 3】

前記レッグシールドには、前記複数のバッテリーの左右側部に、動力発生機関を冷却するラジエータを配置したことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の自動二輪車のバッテリー配置構造。

【請求項 4】

前記自動二輪車は、燃料電池で発生する電力を電源とするモータを駆動する動力発生機関を有し、前記動力発生機関を前記複数のバッテリーの後方に配置して、前記複数のバッテリー間を通過した走行風が前記動力発生機関に至る走行風通路を確保したことを特徴とする

請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の自動二輪車のバッテリー配置構造。

【請求項 5】

電力を調整する電圧調整器を備え、

前記電力調整器は、車体の略中央に配置され、かつ、側面視で、前記上下に離間して配置される前記バッテリーの上下方向間に配置されることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の自動二輪車のバッテリー配置構造。

【請求項 6】

前記左右のラジエータの幅方向間に配置され、前記ラジエータに冷却水を供給するウォーターポンプを備え、

前記ウォーターポンプは、側面視で、前記上下に離間して配置される前記バッテリーの上下方向間に配置されることを特徴とする請求項 3 に記載の自動二輪車のバッテリー配置構造。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この場合において、前記自動二輪車は、燃料電池で発生する電力を電源とするモータを駆動する動力発生機関を有し、前記動力発生機関を前記複数のバッテリーの後方に配置して、前記複数のバッテリー間を通過した走行風が前記動力発生機関に至る走行風通路を確保することが好ましい。この構成によれば、走行風により燃料発電機関の冷却効率を上げることが可能になり、また、車体内の換気も促進することができる。

また、電力を調整する電圧調整器を備え、前記電力調整器は、車体の略中央に配置され、かつ、側面視で、前記上下に離間して配置される前記バッテリーの上下方向間に配置されるようにしてもよい。また、前記左右のラジエータの幅方向間に配置され、前記ラジエータに冷却水を供給するウォーターポンプを備え、前記ウォーターポンプは、側面視で、前記上下に離間して配置される前記バッテリーの上下方向間に配置されるようにしてもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明では、レッグシールドに配置されるバッテリーを、複数のバッテリーで構成し、各バッテリーを相互に離間して上下に配置したので、バッテリーの配置自由度が向上し、バッテリー全体の重心位置を容易に変更することができ、また、バッテリー間に走行風を通過させ易くすることができる。

また、複数のバッテリーのうちの最上部に位置する上側バッテリーを前傾に配置し、最下部に位置する下側バッテリーを後傾に配置して、複数のバッテリー全体を、車体側面視で上下のバッテリーの略中央を車体後方に凸とする仮想屈曲線に沿わせて配置したので、バッテリー全体の重心位置を前輪に近づけやすくなる。

また、レッグシールドには、前記複数のバッテリーの左右側部に、動力発生機関を冷却するラジエータを配置したので、バッテリーおよびラジエータを効率よくレイアウトでき、ラジエータの冷却効率を十分に確保しつつ、レッグシールドの後方へ走行風を流すことができる。

また、自動二輪車は、燃料電池で発生する電力を電源とするモータを駆動する動力発生機関を有し、この動力発生機関を複数のバッテリーの後方に配置して、複数のバッテリー間を通過した走行風が動力発生機関に至る走行風通路を確保したので、燃料発電機関の冷却効率を上げることが可能になり、また、車体内の換気も促進することができる。

また、電力を調整する電圧調整器を備え、電力調整器は、車体の略中央に配置され、か

つ、側面視で、上下に離間して配置されるバッテリーの上下方向間に配置されるようにすれば、バッテリー間を通過した走行風が電圧調整器の周囲を流れ、電圧調整器を冷却することができる。

【手続補正４】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3】

